



愛知工業大学  
愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

「21世紀・万博大学」13回シリーズで開講

愛知万博の期間中 豪華講師陣・単位互換も検討

愛知工業大学は二〇〇五年の愛知万博（愛・地球博）に協賛、公開講座「21世紀・万博大学」を開講することになりました。「科学と人間」「技術と人間」「環境と人間」をキーワードに、科学技術と人間の関わりを地球規模で探求し、未来に向けて提案していきます。

大学内に設けられた「万博対策室会議」（座長・後藤泰之学長代理）の構想によると、万博大学は四月のスタートとし、期間中に計十三回開講する予定です。初回と最終回は長久手会場内の愛知県パビリオン、十一回は豊田市八草町の大学施設を使用することになっています。なお、名誉学長には豊田章一郎・日本博覧会協会会長が就任します。講師陣として既に、梅原

長久手会場最新情報 ⑤「会場模型」⑥「工事が進む会場周辺」（ともに中日新聞提供）⑦「会場イメージ図」（万博協会提供）

目次:	
学術・研究	2・3
写真グラフィ	4
スポーツ	5
サイエンス大賞	6
賓客万来	7
頑張りました	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒464-8540  
名古屋市千種区若水3-2-12  
TEL (052) 721-0201

後藤学長代理に客座教授の称号  
愛工大 活発に姉妹校交流 東南大  
学生代表団は大学祭など楽しむ



①後藤学長代理への客座教授授与式の本部棟前で記念撮影する東南大学生代表団

猛氏（哲学者）をはじめ野依良治氏（ノーベル化学賞



ことしも、姉妹校の東南大学（中国・南京市）と活発な交流が行われました。後藤泰之学長代理を団長

花火テーマに大学祭

東南大生も雰囲気満喫

第四十三回愛知工業大学祭が十月十八、十九日行われ、セントラル広場を中心に様々なイベントが繰り広げられました。写真。

テーマの「花火」には、仲間と続けてきた努力を最後に花開かせるとの願いを込めたそうです。好天に恵



受賞者）、藤本義一氏（作家）、毛利衛氏（宇宙飛行士）、涌井雅之氏（博覧会プロデューサー）らの顔ぶれが決まっています。受講生は大学生百人、一

般社会人百一十人。講座は愛工大のカリキュラムに組み込み、大学生の単位認定だけでなく、単位互換授業として他大学にも広く参加を呼びかけて行きます。

まれ、フリーマーケットや屋台、ミニ動物園などは大にぎわいで、東南大の学生代表団も雰囲気を楽しんでいました。（④面にグラフ）

とする訪中代表団は十月八日から十四日まで滞在し、顧冠群東南大学長らと今後の交流計画について話し合いました。席上、後藤学長代理に「客座教授」の称号が贈られました。

一方、東南大学生代表団（団長・陳鏞副教授）の十二人は十月十七日から二十三日まで来日。愛工大祭に参加したり関西方面の見学旅行を楽しみ、学生同士の交流会も開かれました。（④面にグラフ）

名古屋東部に「あいち・なごやモノづくり研究開発特区」

### 内閣府認定を受け 3分野で研究推進 愛工大

新産業、新事業創出のため、「名古屋市及び名古屋東部丘陵地域」を拠点に共同研究や研究交流活動などを活発化させていこうと、

愛知県などが内閣府に申請していた「あいち・なごやモノづくり研究開発特区」が八月二十九日付で認定されました。

愛知工業大学も「環境」と「新産業技術」それに「情報通信」の分野で特区



大学の施設としては国内で最大級を誇る耐震実験センター

に参加、研究を進めていくことになりました。特区への参加が認められ



研究の中心となる総合技術研究所

### 耐震実験センター

## 国の整備事業継続が決まる

大学としては国内最大級の「耐震実験センター」を核にした愛工大の研究について、文部科学省はこのほど、平成十五年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業の継続分として選定しました。これにより今後五年間、私立大学教育研究高度化推進特別補助が受けられることとなります。

耐震実験センターは平成十年、土木工学科・青木徹彦教授を中心としたプロジェクト「各種構造物の耐震実験に基づく機能限界耐

ると、①外国人研究者受け入れ促進事業②特定事業等に係る外国人の入国・在留諸申請優先処理事業…について便宜が図られます。このため大学では、総合技

### 11月10日に愛和会館で 東海工学教育協会大会

東海工学教育協会の平成十五年度地区大会が十一月十日、大学・愛和会館講堂で開かれます。午後一時からの開会式に続き、二〇〇五年日本国際

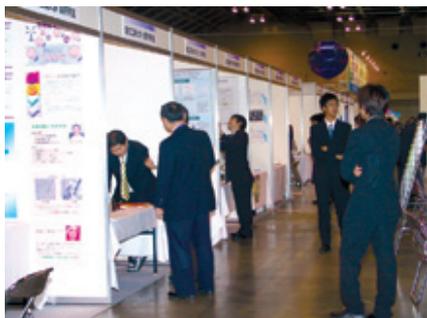
術研究所を核に新材料創出などのプロジェクトが進められている「学術フロンティア」事業に絡み、外国人研究者の招請が迅速化するものと期待しています。

## 産学交流フェアで 研究成果を披露

震実験法の確立」で助成対象となり、約十億円をかけて大規模実験用の施設が建設されました。

博覧会協会会長の豊田章一郎・トヨタ自動車取締役名誉会長が「愛・地球博と科学技術(ものづくり)」と題して特別講演。この後、「技術者のキャリア形成支援における産学の連携」をテーマに、加藤厚生・愛工大工学部長の司会でパネル

### 7つのブースが並ぶ「愛工大コーナー」



大学が取り組んでいる最先端の研究成果を展示紹介し、地元企業との技術交流促進や連携強化を推進するための「産学交流テクノフロンティア二〇〇三」が十月八日から三日間、名古屋市千種区の吹上ホールで開催されました。写真①。本学からは電気、電子、応用化学、機械、建築、情報通信の各研究室と総合技術研究所が出展。パネルなどを使い、分かりやすく研究成果を披露しました。

訂正 前号①面「大学コンソーシアムせと」の記事中、「バルティセと」が地下一階建てとあるのは、地下一階の誤りでした。

ディスプレイが行われます。

◇プロジェクト研究成果報告会Ⅱ大学・総合技術研究所は10月31日、二階視聴覚室で平成15年度のプロジェクト研究成果報告会を開きます。発表者は北川一敬機械工学科講師、中原崇文機械工学科教授、平野正典応用化学科助教授、酒井忠雄応用化学科教授、一柳勝宏電気工学科教授。



樋口 功氏(ひぐち・いさお)Ⅱ大学

基礎教育センター自然科学教室教授、学生支援本部学習支援センター(長) 十月七日午後十時九分、胃がんのため愛知県瀬戸市の公立陶生病院で亡くなりました。六十一歳。告別式は十月九日午前十時から、春日井市東神明町の平安会館春日井東斎場で営まれました。喪主は長男・貴史(たかし)氏。

# 学生対応の総合化を進める

## 大学九月から支援本部を改組

今年四月、学生の生活・学習などを支援する「学生支援本部」が大学に創設され、1号館一階に設けられた「学生支援センター」を核に補講や生活相談、個別学習相談などを実施してきました。約半年間の利用状況などから、学生対応の窓口を強化、総合化していくことになり、九月から一歩踏み込んだ新しい組織に生まれ変わりました。

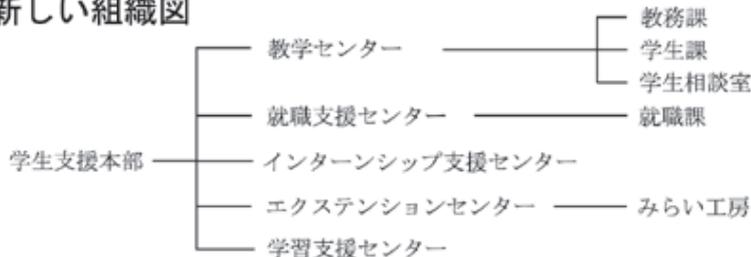
一をすべて学生支援本部に統合した点です。教学部は教学センター、就職部は就職センターに名称変更されました。窓口の強化・総合化によって、入学から卒業まで、学生生活に関連するすべてのサービスがさらに充実することになります。

新組織の特徴は、事務的窓口の教学部、就職支援窓口の就職部とインターンシップ支援センター、そしてスキルアップのための講座などを開講しているエクステンションセンター

学習相談などをする学生支援センター



### 新しい組織図



◇後藤すゞ子先生奨学金＝10月14日に高校普通科2年生、16日に大学経営情報学科4年生（ともに男子）に後藤淳理事長から交付されました。

### 大幸財団 藤井助教授に学会等助成

財団法人大幸財団（永澤満理事長）は平成15年度学会等開催助成として、藤井勝紀・基礎教育センター総合教育教室助教授に13万円の助成を決めました。藤井助教授は、平成16年3月27日、28日の2日間、愛工大で開催予定の日本発育発達学会第2回大会の会長を務めることになっています。

### 日東財団 4教員に総額200万円の助成

財団法人日東学術振興財団（加藤時夫理事長）はこのほど、第20回（平成15年度）の助成者を決定、愛知工業大学関係では研究・海外派遣の分野で次の4教員が選ばれました。

対象となった研究代表者、共同研究者と研究テーマ、助成金額などは下表の通りです。

主な人事（10月1日＝カッコ内は前職）

#### 【新規採用】

（大学）学生支援本部教学センター次長 永田 純作

#### 【昇格】

（学園）総合企画本部企画広報・ホームページ室長（企画広報・HP室副室長） 後藤 尚之

（大学）学生支援本部教学センター教務課長（教務課課長補佐） 柴田 清司

#### 【異動】

（学園）総合企画本部システム管理室課長（大学学生支援本部教学センター教務課長） 山本 久雄

#### 【兼務解除】

（学園）総合企画本部企画広報・ホームページ室長の兼務を解く 総合企画本部長・学長代理 後藤 泰之

（大学）学生支援本部教学センター次長の兼務を解く 事務局長・耐震実験センター事務室事務長 堀田 龍一

#### 【兼務】（10月8日）

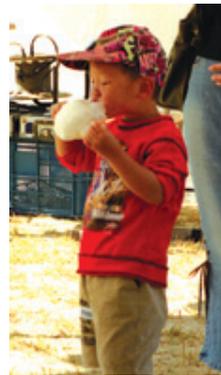
（大学）学生支援本部学習支援センター長 基礎教育センター教授 荒木 淳

分野	代表者	共同研究者	研究テーマなど	助成額
研究	中野寛之・電気工学科助手	落合鎮康・電気工学科教授 小嶋憲三・電気工学科教授 大橋朝夫・電気工学科教授 前田昭徳・電気工学科助教授	光・電子デバイスへの応用を目的としたフタロシアニン系有機非線形光学薄膜の物性と形態に関する研究	70万円
研究	高木 誠・機械工学科助教授	岩田博之・電子工学科講師	ナノ組織材料の創製とそのマイクロトライボロジーに関する研究	70万円
海外	酒井忠雄・応用化学科教授		2003年12月にベネズエラのメリダで開催される第12回「流れを利用する分析手法の開発に関する国際会議」で講演の予定	30万円
海外	鈴木 晋・情報通信工学科助教授		平成15年11月～平成16年9月に1、2週間ヨーロッパかアメリカの学会に出席	30万円

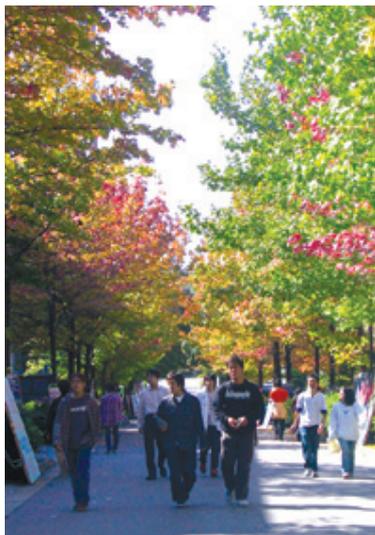


㊦ちよっと疲れたね㊦結構いけるよこの味

# 第43回 愛工大祭



㊦にぎわう紅葉の本部棟前通り  
㊦㊥初お目見えのミニ動物園  
㊦㊧工科展の審査風景



㊥この綿菓子最高だよ!㊦ロボットコンテストでの熱い戦い㊦鉦徳館をフアンが埋めた「6016017188」コンサート



## 東南大・学生代表団



㊥ベナントを交換する稲垣慎二副学長と陳团长

㊥東大寺を見学㊦産業技術記念館で展示品に見入る



㊥㊥大学祭ではフリーマーケットも見て回りました㊦学生交流会では自慢のノドを披露

## 愛工大・訪中代表団



㊥今後の交流計画について話し合う両校代表㊥大礼堂に掲げられた歓迎の横断幕



客座教授章



㊥後藤学長代理に客座教授章を贈る顧冠群学長㊦東南大の浦口キャンパス㊥雑伎団の観劇



④東海勢の入場行進。先頭が愛工大名電③三回表2死3塁、鳥栖商の打球に飛びつくライト・大野誠選手。落球して2塁打に(中日新聞提供)



第85回全国高校野球

鳥 栖 商	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
愛工大名電	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

名電 初戦で鳥栖商に惜敗

第85回全国高校野球選手権記念大会は8月7日に開幕し、愛工大名電は第7日(8月13日)の2回戦第2試合に登場して佐賀県の鳥栖商業と対戦しました。愛知県大会では強力打線を爆発させた名電ですが、甲子園では鳥栖商のエース・重野倫基選手に散發5安打に押さえ込まれ、1-2で敗れました。

※来春の選抜キップをかけた秋季高校野球東海大会は11月1~9日、三重県四日市市営霞ヶ浦球場などで開幕します。右が組み合わせ表(中日スポーツ紙面から)。



●秋季高校野球東海大会組み合わせ●

中 津 田 学 園(三重2)	2日10:00四	9日10:00四
愛工大名電(愛知3)	1日10:00四	
享 栄(愛知1)	8日10:00四	2日10:00松
常葉学園菊川(静岡2)	2日12:30四	
東 海 大 翔 洋(静岡1)	1日12:30四	8日12:30松
岐 阜 三 田(岐阜2)	2日10:00松	
海 星(三重3)	1日10:00松	2日12:30松
宇 治 山 田 商(三重1)	8日12:30四	
東 邦(愛知2)	2日12:30松	1日12:30松
静 岡 商(静岡3)	1日12:30松	

【注】県名の右の数字は県大会での順位。四は四日市市営霞ヶ浦、松は県営松阪の両球場

スタンドから熱い応援



2日に全日本大学駅伝  
タスキつないで  
13位以内を目標

秩父宮賜杯第三十五回全日本大学駅伝対校選手権が十一月二日、名古屋・熱田神宮前、三重県・伊勢神宮内宮前間の8区、一〇六・八キロで二十五校が参加して行われます。

愛工大は四年連続十二回目の出場。前回は5時間38分20秒で18位でしたが、

秋は8勝3敗で2位  
愛知大学野球の愛工大

愛知大学野球秋季リーグは9月6日に開幕し、愛工大は名古屋

学院大と愛知学院大を連破して好調なスタートを切りました。しかし、全勝同士の対決となった9月27、28日の中京大戦は、2-3、0-2で痛い連敗を喫し、そのあと持ち直して10月4、5日の中部大戦は6-1、5-4と連勝して勝ち点を3に伸ばしました。10月18日からの愛知大戦では、初戦を6-2で勝ったものの、第2戦は0-7で敗れ、中京大に31年ぶりの優勝を献上してしまいました。第3戦は2-1で愛知大を下し、通算成績を8勝3敗、勝ち点4、勝率7割2分7厘で2位となりました。



中京大との第1戦 6回に2点をもぎ取り、同点に追いつく粘りを見せる

34回大会のスタート風景

初めて「タスキをつなぐこと」に成功しました。今回もたすきをつなぎ、過去最高の13位以内を目指します。メンバーは下表の通りです。

区間	距離	選手・学年	5000mベスト
1区	14.6*	松田 康成③	14分48秒6
2区	13.2*	桐山 幸祐④	14・28・8
3区	9.5*	吹田 雅人④	14・43・4
4区	14.0*	堀 貴博②	14・49・7
5区	11.6*	本島 治宏③	15・14・0
6区	12.3*	牛山 純一②	14・48・45
7区	11.9*	羽根 啓介①	15・11・5
8区	19.7*	蓮池 彰太郎③	15・07・3

♪♪ 大畑小の児童30人を招待 ♪♪  
11月5日に第23回愛工大駅伝大会

学生同士の親睦と学生・教職員の触れ合いを深める第23回愛工大駅伝大会が11月5日(水)に開かれます。午前9時15分から開会式があり、9時40分の「オープンコースの部」で幕を開けます。

第1本部棟前を発着点とし、「選手権の部」(1周約3.5kmを4人で4周する)、「オープンコースの部」(1周約2.2kmを4人で4周する)、「学科交流の部」(1周約2.2kmを飾り物などを持ってチームが5周する)などがあります。また、キャンパスに近い大畑小学校5~6年児童30人を招待し、1周約1.1kmのコースを3区間に分け、5チームがリレー形式で2周する競技も行われます。

## 16組が熱戦繰り広げる 優勝は稲森・鈴木ペア

ロボコン  
ジュニア

サッカーロボッ  
トを組み立て、プ  
ログラムをインス  
トールして二人一  
組で対戦する平成  
15年度ロボカッ  
プジュニア愛工大  
大会が十月十九  
日、A I Tプラザ  
三階で行われまし  
た。  
小学五年生から  
中学三年生までの



右から優勝した鈴木敏矢君と稲森太一君。2位の平野周治君（貴船小6年）と平野祐治君（高針台中2年）の兄弟チーム

男女三十二人が参加。十月  
四日から組み立て、プログ  
ラミング、自主練習をこな  
してこの日の本戦に臨み、

稲森太一君（愛工大附  
中一年）と鈴木敏矢君  
（桜丘中一年）のペア  
が見事優勝しました。

④家族や仲間など大勢の声援を受け、  
コートでは熱い戦いが続きました

昨年の自然科学部門表彰式



A I Tサイエンス大賞

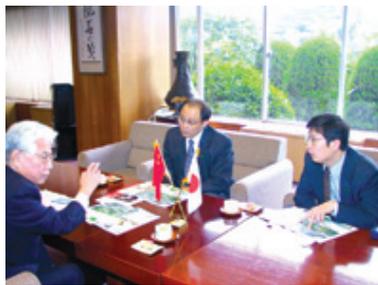
## 28校が32件の作品寄せる

11月8日 大学10号館で発表会

学園創立90周年を記念し、東海四県の高校生を対象  
に制定された「A I Tサイエンス大賞」はことし二回  
目を迎え、自然科学、ものづくり両部門あわせて二十  
八校が三十二件の研究、制作テーマをエントリーしま  
した。慎重審査の結果、この中から自然科学部門八  
件、ものづくり部門九件の計十七件が入賞候補作品に  
選ばれました（下表）。

十一月八日午前九時四十五分から、愛工大10号館二  
階大講義室で開会式に続いて下表の時間に沿って研究  
発表会が行われます。各校の代表が制作物やパネル、  
スライドなどを使い、作品の紹介、苦労した点など  
について発表し、両部門で最優秀賞、優秀賞、奨励賞計  
十五点が選ばれます。また、エントリー全作品が、A  
I Tプラザ一階でパネル展示されます。

部門	発表時間	学校名	テーマ
自然科学	10:00～	愛知県立岡崎北高校	カラーまゆの実験
	10:17～	愛知県立一宮工業高校	環境に優しい「柴漬け漁」の研究
	10:34～	三重県立四日市中央工業高校	リサイクル活動の漸進
	10:51～	暁高校（私立・三重）	オオカマキリの日周活動～活動に及ぼす日射の影響について～
	11:08～	岐阜県立羽島高校	校内植栽樹木の開芽条件
	11:25～	岐阜県立郡上高校	郡上郡大和町小間見川のオオサンショウウオ生息実態調査
	11:42～	岐阜県立加茂高校	影の不思議～影が重なるとき何故伸びるか～
ものづくり	11:59～	岐阜県立関高校	窒素酸化物が植物に及ぼす影響についての研究
	13:30～	愛知県立春日井工業高校	ハイブリッドエネルギーシステムに関する研究
	13:47～	愛知県立佐織工業高校	燃料電池を搭載した電気省エネカー（EV）
	14:04～	愛知県立刈谷工業高校	段差を楽に乗り越える車イスの研究製作（段差車イス7号機）
	14:21～	三重県立津工業高校	橋梁模型製作における構造強度とデザインの検討について
	14:38～	愛工大名電高校（私立・愛知）	モデルロケット全国大会へ向けての自作機の製作とその工夫
	14:55～	岐阜県立多治見工業高校	マイクロロボットの制御～制御システムに関する諸研究～
	15:12～	愛知県立津島高校	IGNITION!! モデルロケットへのチャレンジ
15:29～	静岡県立浜松工業高校	レスキューロボット隊の開発～未来サンダーバードの苦悩と努力とその結果	
15:46～	愛知県立岡崎高校	Super Ice Box（手動ポンプ式冷蔵庫）の製作	



④後藤淳学長の説明を聞く張参事官  
⑤耐震実験センターの大型装置を見学

◇張立国参事官  
十月十一日、愛知万博長  
久手会場の視察に続いて愛  
工大を訪問しました。  
後藤学長が、概要などと

# 「賓客」 万 来

愛知万博協会の豊田章一郎会長（トヨタ自動車取締役名誉会長）と駐日中国大使館の張立国・参事官兼総領事が、相次いで愛知県豊田市の愛知工業大学を訪れました。

◇豊田章一郎氏  
八月二十日、愛知万博開  
連施設工事で協力関係にあ  
る愛工大に謝意を伝えるた  
め来学しました。  
後藤淳学長から大学の現  
状やキャンパスの概要につ



⑥後藤淳学長の説明を聞く豊田会長  
⑦未来工房で風力発電装置を見学

いて説明を受けた後、大学  
内を見て回りました。みら  
い工房では、発光ダイオー  
ドで文字表示も出来る風力  
発電装置を見学しました。



合わせ大学キャンパスの一  
部が万博会場に使用されて  
いることなどを説明した後、  
大学施設を見学しました。  
耐震実験センターでは、国  
内最大級の実験装置を興味  
深そうに見て回りました。

## タイピング教室盛況 ACE 小4ら20人受講



愛工大情報電子専門学校  
（ACE）の地域交流事業  
の一環として、小学生や保  
護者、一般社会人を対象に

したワープロソフト「タ  
チタイピング練習会」が九  
月から十月にかけて、二階実  
習室を会場に三日間シリ  
ズで開かれました。写真。  
入力方法を何とかマス  
ターしようとして、小学四  
年生十一人を含む定員い  
っぱいの二十人が受講。A  
C Eの教員が講師になり、  
キーボードの配置やローマ  
字入力のルールなど、ブラ  
インドタッチを目標に基本  
をみっちり練習しました。

## 保護者と大学教員の連携深める

フォーラム 六会場で二百五十人余参加

愛工大生の主な出身地区  
（愛知県を除く）で講演会  
を開き、地元との交流を深  
めるとともに、保護者懇談  
会もセットにして大学教員  
との連携を密にしていこう  
というA I Tオープン

県も六十人を超える参加者  
がありました。会場別講演  
内容などは下表の通り。

フォーラムが今年も八月末  
から十月にかけて計六会場  
で開催され、三百五十余人  
が参加しました。  
八月三十日の岐阜会場を  
皮切りにスタート、締めく  
くりは十月十一日の金沢会  
場（写真）でした。参加者  
はやはり大学に近い岐阜、  
三重、静岡県が多く、石川



日程	会場	テーマ	講師	参加
8月30日	岐阜グランドホテル	人にやさしい住まい・街	建部謙治・建築学科教授	85人
9月13日	四日市都ホテル	信(神)頼性工学的生き方	中川覃夫・マーケティング情報学科教授	80人
9月20日	サンルート大阪	パソコンとうまくつきあう	石垣尚男・マーケティング情報学科教授	12人
9月27日	グランドホテル浜松	東海・南海巨大地震について	正木和明・土木工学科教授	73人
10月4日	岡山ロイヤルホテル	21世紀はインターネットの時代	近藤高司・経営情報学科教授	39人
10月11日	ホテル・イン金沢	宮本武蔵と技術者	森 豪・基礎教育センター教授	62人



頑張りました!

財団法人日本情報処理開発協会主催の第24回全国高校生・専門学校生プログラミングコンテストで、ACE一年の西尾啓之君が最優秀賞の経済産業大臣表彰、名電高校二年の瀬瀬健太君、角田一紘君が入賞、十月一日に東京で表彰式が行われました。

「Reversi3D」が入賞

瀬瀬 健太君(右)  
角田 一紘君

名電情報科学科二年小学生からパソコンを使い始め、中学生でプログラムを書いた瀬瀬君。高校で瀬瀬君と知り合い、パソコンを覚えた角田君。積極的な瀬瀬君と理論的な角田君。コンビは「自分たちのプログラミング向上が当面の目標」と話しています。



西尾 啓之君

ACE情報工学科一年小学校低学年で、父親のパソコンを操作していたという西尾君。友達にプログラムの書き方を聞かれたりしているうち、人に教えるためのマニュアルづくりを思いついたとのこと。目標は来年の大会でも入賞すること。卒業したら、社会に通用するプログラムをつくるのが夢だそうです。

「ABC Cap」が最優秀賞に



第46回中部日本吹奏楽コンクール本大会(浜松市)の「高校・中学大編成の部」と、「情報通信と簿記の甲子園」とも呼ばれる「第23回全国高校IT・簿記選手権」愛知県大会の新人戦で、名電高校がともに最高賞を獲得しました。

IT・簿記の愛知県新人戦で優勝

名電高情報科学科

一〜二年生八人が、平成15年度全国高校IT・簿記選手権愛知県大会のIT部門新人戦に初挑戦。個人では二年の瀬瀬健太君が優勝、上位三人の得点合計で競う団体の部でも優勝しました。全国順位も団体3位の好成績で、石川聡学科主任は「新人戦は一回だけ。来年は本大会に出場して頑張ります」。



名電高吹奏楽部

十月十二日、中部九県と名古屋市の各地区大会を勝ち抜いた高校十校、中学校十一校が出場。高校・中学大編成の部で最優秀の文部科学大臣奨励賞に輝きました。写真中は中日新聞提供。最優秀賞は第42回大会以来通算21回目の受賞。桐田正章顧問は「課題、自由曲とも思い通りの演奏が出来ました」と話していました。

「高校・中学大編成の部」で最優秀

頑張りました!

編集後記

MT車をAT車に代えてから、つくづく思うことがあります▼左手のシフト操作が不要になり、坂道でバックすることもなく、運転に集中出来るようになりました▼でも、街を走っていると、空いた手で携帯電話を掛け、窓からたばこの吸いガラを捨てている人をよく見かけます▼便利なAT車が増えれば、マナー違反も増える。こんなモラルの低下には、ただただ情け無くなるばかりです▼この世で生きていくための基本は、自分の権利だけでなく他人の権利も守り、人間としての義務を果たすこと▼要は、自分がされていやなことは人にせず、人にしてほしいと思うことは、人にしてあげることです▼そしてもう一つ、今何をなすべきか、自分としてやらねばならないことは何かを見極めること▼車を運転しながら携帯電話をかけていては、とっさの危険回避が出来ないし、車のゴミを道路に捨てるなど論外です▼職場でも同じこと。今やらねばならぬことを、先に延ばせば悔いが残ります(柳)